

# タウンレポート

## 「蝶好きオジサン」が教室

### 子供に蝶の育て方指南

夏休みを迎えた子供たちに自然と触れ合うきっかけに  
してもらおうと、花水公民館で7月23日、アゲハ蝶の育  
て方講座が催される。教鞭を振るうのは松風町に住む「蝶  
好きオジサン」こと林田雅之さん(64)。蝶で地域を結ぶ  
ユニークな取り組みを追った。



自作の標本を手に魅力を語る林田さん

2回目の開催となる「地域の  
オジサンからアゲハ蝶の育て方  
を教えてもらおう！」は、蝶と  
蛾の違いや蝶の種類、成長の様  
子、卵から羽化するまでの育て  
方を子供たちに教える。終了後  
は、アゲハやクロアゲハ、アオ  
スジアゲハの幼虫をプ  
レゼントし、成長を観  
察してもらおう。  
指導する「蝶好きオ  
ジサン」こと林田さんは、小学  
4年生の頃から昆虫採集を始め  
た。中学生の時は神奈川昆虫談  
話会に所属。就職後もエンジニ  
アとして仕事に励みながら、旅  
行やゴルフの際は虫網を懐に忍  
ばせ、各地で昆虫を追いかけた。  
昆虫の中でもとりわけ蝶に惹  
かれたのは、マレーシアへの転  
勤がきっかけだった。2007

## 幼虫の餌もらいに 高齢者との交流も

「最初は手探りだったが、調べる  
うちに段々と出会えるようにな  
ってくる」。帰国3日前、これで  
最後と綿密な計画を立ててジャ  
ングルに飛び込み、ついに念願  
を果たした。  
林田さんは現在、株式会社研  
進で「いのちの森づくり」プロ  
ジェクトに携わる。進和学園の  
福祉施設でドンダリのポット苗

年から約6年半滞在する中で、  
ジャングルをひらひらと優雅に  
舞ったり、ツバメかと思わせる  
くらい俊敏に飛び交ったりする  
姿に魅了された。現地で採集し  
た約220種類の中でも一番の  
自慢は、緑・黒・赤の派手な見  
目形と悠然と宙に浮かぶ姿が特  
徴のマレーシアの国蝶・ラジャ  
ブルック。毎週末スポーツに繰  
り出し、出没时间や生態、ルー  
トを約3年にわたり研究した。  
子供たちが幼虫を育てるにあ  
たり、幼虫の餌となるレモンや  
夏ミカンなどの柑橘系の木を庭  
に持つ世帯も紹介する。地域の  
高齢者宅を子供たちが  
訪れることで、世代間  
交流の機会を創出して  
もらう意図もある。「昨  
年参加した子から『今年も幼虫  
を育てています』とメールを頂  
いたり、高齢者の方からは『ど  
んな子が来るか心待ちにしてい  
る』との声を聞いたりと、想像  
以上の反応があつてうれしい」  
とほほえむ林田さん。「蝶を媒介  
にして地域をつなげたい」と話  
し、地域づくりにも貢献してい  
くつもりだ。